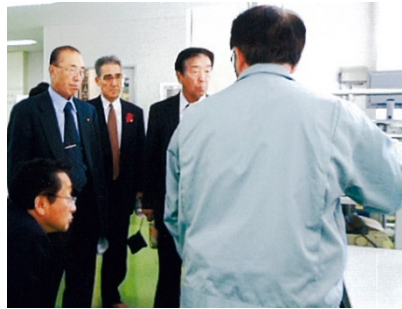


これからの課題となる「ごみ減量化と最終処分場」について

11月19日と20日に「ごみの減量化」と「一般廃棄物最終処分場」について大分県大分市と福岡県久留米市において各市の取り組み状況、現況について調査しました。大分市では平成26年度から家庭ごみの有料化（45ℓ ゴミ袋あたり31.5円）を行い「ごみの減量化」に取り組んでいるとのことでした。家庭ごみの有料化制度は、ごみに対する排出抑制意欲や、分別意識が今以上に高まり、資源を循環させることができ、環境負荷の低減に大きく寄与することが見込まれています。有料化には市民説明会や審議会での審議、条例改正など、約3年間の期間を要し実施に向けた準備を進めてきたそうです。平成26年度は、前年比12.2%のごみ減量化ができ、有料化に伴い環境美化に取り組む自治会や市民活動への補助、啓発運動を手厚くすることができたそうですが、さらなる多角的な検証が必要との印象を得ました。

久留米市では、一般廃棄物最終処分場を視察しました。現在、福井市クリーンセンターで発生する一般廃棄物（焼却灰、ばいじん、不燃残渣）は、年間約7,000tあり、すべてを群馬県まで移送、委託処分しています。本来、一般廃棄物の処理は排出市町村の責務であり自らの区域内で処理することが原則です。また、近年多発している風水害や地震などの大規模災害発生に備え、自力でのごみ処理能力の強化を図る必要性が高まっています。最終処分場の市域内における整備は福井市にとって大きな課題であるため、久留米市の建設までの経緯と現況を調査したことは大変参考になりました。



経済企業委員会行政視察「新幹線開業にともなう長野市の戦略」



新幹線の始発・終点駅から途中下車駅へと変わった長野市。北陸新幹線金沢開業に対して並々ならない危機感で、今まで以上に観光施設の充実とPR活動を展開しています。福井市をはじめ北陸各地との連携や長野県内の観光施設との広域観光強化など、福井市にも必要な取り組みです。



次回・泉和弥 活動報告会のご案内

日時 平成28年2月21日（日曜日）午後1時30分～

場所 福井問屋センター ホール

※ 上記の日時、場所にて計画をしております。

皆様お誘いあわせのうえ多数のご参加を心からお願いいたします。



住民力

ひとりひとりが、
地域を育てる。

福井市議会議員

こんにちは！泉かずやです。

泉和弥事務所：〒918-8231

福井市問屋町1-10 ユニックスビル1F-112

☎ 090-8268-0454 Mail : izumikazuya.civ@gmail.com

これからの福井市発展のために、ここに注目しています！

福井市総合計画

福井市の最上位計画として市政の方向性を定め、すべての政策・施策の指針となる計画です。現在、平成29年度～33年度までの第七次総合計画を総合計画審議会の中で策定中です。

福井市総合戦略

人口減少の克服をはかり、将来に希望の持てるまちづくりをすすめるために「福井市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」を策定します。

中核市移行

市民に最も近い基礎自治体として、その自主性や自立性を高めることで、さらなる市民サービスの向上と、人口減少社会や地域間競争に打ち勝つ活力ある地域づくりを実現するため、平成31年4月1日を移行目標期日とし、中核市を目指します。

働きやすい環境と働ける場の創出について・・質疑応答(抜粋)

早急に、働く場の創出ができる環境整備を

◆泉：

福井市は新しい仕事ができる環境（産業用地の確保）が整っているのか？

◎答：市では、産業用地の確保についてテクノポート福井の企業未利用地の活用、市街地内の空き工場、空き地等の活用、さらには高速道路インターチェンジ付近の活用を考えている。中でも、高速道路インターチェンジ付近の活用については厳しい土地利用規制があり、スピード感のある企業立地支援を行うためには地方分権改革による農地転用許可の権限移譲、また地方創生特区など国の規制改革の動きを捉え、あらかじめ市として産業誘導を行う地区を設定し具体的な検討を進めていきたい。また、福井市企業立地戦略を策定し、市外企業を誘致するだけでなく、市内の企業の拡大等に伴う立地推進を図る。

駅西口の活性化には、

もっと民間の力を呼び込むべき

◆泉：

最近、美のまちふくいプロジェクトの効果で、個人事業者で新規のお店が増えているようだが、駅前電車通りの空き店舗というのがなかなか埋まっていない、何か要因があるのか。

◎答：今年度分です駅前電車通りは1件だけで、ほかの場所に比べて坪当たりの家賃単価が高く、出店するのはなかなか難しい。

◆泉：駅前電車通りの利活用を促進していく方が必要ではないか。

◎答：駅前電車通りは、他に比べて高い限度（面積が一定程度大きいもので、500万円）まで出せるような形で対応しているが、来年度に向けて検討したい。

農業における企業誘致を検討すべき

◆泉：県内でも企業が農業に参画している他市町も多数見られるようになってきている。福井市も農水産業と食品加工、そして流通・観光を合わせた産業の創造と企業誘致を積極的に行うべきではないか。

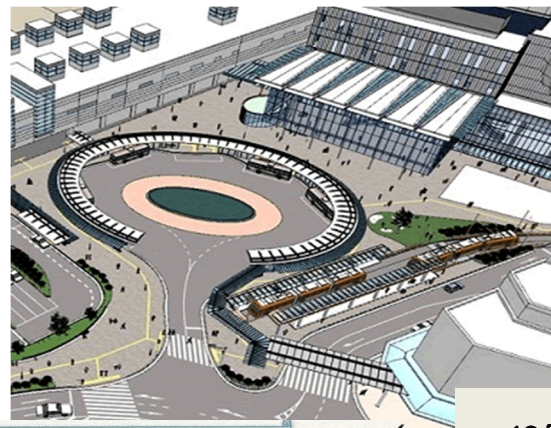
◎答：本市では、今年度、今後5年間の本市農業の基本方針とその取り組みの方向性を定めた福井市農業活性化プランを策定し、園芸の推進、稲作の強化、流通販路の開拓、農地・農村環境の維持・活性の4つの政策を推進する。とりわけ園芸の推進及び稲作の強化については、これまで人も農地プランの作成を通じて中心となる担い手の確保に努めているが、中山間地域や砂丘地などにおいて担い手の確保が困難な状況にある。このため解決策の一つとして地域農業を阻害しないということが条件で農業への参入意欲のある企業の誘致に向けた取り組みも検討していきたい。

議会選出の監査委員として

私は今年度、議会選任の福井市監査委員を拝命しております。監査委員は一般から2名、議会から2名で構成され、福井市の財務に関する事務や経営に関する事業について、「住民の福祉の増進に努めるとともに、最少の経費で最大の効果を挙げているか。」また、「組織及び運営の合理化に努め、規模の適正化を図っているか。」といった視点から監査しております。

8月までは平成26年度の福井市決算審査が主でしたが、9月以降は部署ごとの定期監査、工事監査等を行っています。これからも市民の皆さんと同じ目線で監査委員の職務を行ってまいります。

監査委員は地方自治法に位置づけられた市長の指揮監督を受けない独立した機関です。地方自治法では「監査委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。」として守秘義務を課しています。監査を受ける側は、監査において知り得た情報をみだりに公表しないことを前提に監査に応じています。監査委員が一般質問や、議員活動報告などで監査上知り得た情報を取り上げると、監査を受ける側が必要な情報を提供しなくなり、適正な監査業務を阻害しかねないという倫理上の観点から議会内の申し合わせで、本会議一般質問等をひかえています。しかし、常任委員会での質問や市議会議員活動、政務活動は積極的に行っており、今後も市民の皆さんからの声をしっかり市に伝えられるよう活動してまいります。



東安居団地C棟新築工事



10月は、来年春のオープンに向け、着々と工事が進む
駅西広場整備事業の工事監査を行い、12月の工事監査
では、東安居団地C棟新築工事と和田公民館移転新築
工事の現場を訪れました。



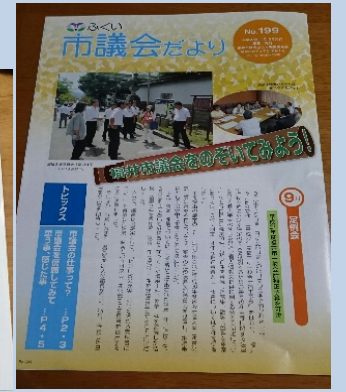
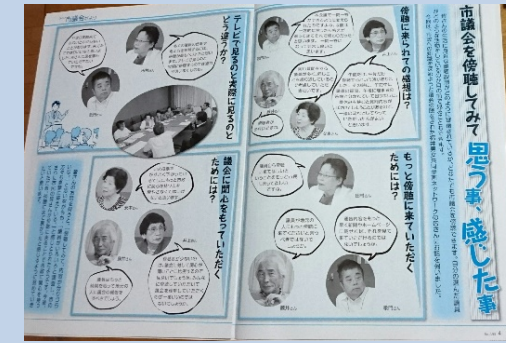
和田公民館移転新築工事



わかりやすく、見やすい議会だよりをお届けします。

「議会だより編集委員会」委員長として議会だよりの発行を担当しています。

議員自らが紙面づくりに取り組み、「わかりやすく見やすい議会だより」「より身近な福井市議会」を感じていただけるよう工夫を凝らしています。



通学路の安全確保と生活基盤の整備に取り組んでいます

皆さんの声から、より快適なまち、より安心なまちがつけられます。



路面改良



公園ブロック補修



地域住民・警察・市・県を交えた交通安全対策協議



カーブミラー設置



門型側溝整備

日々の活動など情報発信中！

泉かずや

検索

<http://izumikazuya.jp>

市政に関する要望、相談は、お気軽に

☎ 090-8268-0454

メール： izumikazuya.civ@gmail.com

FAX 0776-53-4659 まで